

東野**地域交流センターだより**

～笑顔・ふれあい・学びあい 地域に広げる 和！話！輪！

7
月号東野地域交流センター
〒725-0004
竹原市東野町 887
TEL・FAX 0846-29-0546
higashino-k@tanet.ne.jp

▲▽救急講習会(案内)▽▲

竹原市危機管理課の主催で、次の日時に救急講習会を開催します。いざという時のために、何度でも、体験しておきたい講習会です。

多くの町民の皆さんのご参加をお待ちしております。是非一緒に学びましょう！

▽日時：7月14日（火）13:30

▽場所：東野地域交流センター2F ホール

▽講師：東広島消防局職員

▽参加費：無料

▽講習内容

- ・心配蘇生法（胸骨圧迫と人工呼吸の手順）
- ・AEDの使い方

▽申込：7/10 迄交流センターへ（自治会ですでに申し込まれている方は不要です）



◇◆東野小学校からのお知らせ◆◇

～東野小学校の懐かしい写真を募集～

今年度末をもちまして、地域の皆さんと共にあった東野小学校は153年の長い歴史に幕を閉じます。その閉校にあたり、これまでの歩みを振り返る展示を行う予定です。つきましては、地域の皆さんがお持ちの東野小学校にまつわる写真を募集いたします。入学式や運動会、地域行事、子どもたちの笑顔が写った一枚など、どんな小さな思い出でも大切な“学校の歴史”になります。お手元に写真がございましたら、ぜひご提供いただきますようお願いいたします。

（写真は返却します。）

*募集期間：8月30日迄

*提出：東野地域交流センターへ



◆◇賀茂川中学校からのお知らせ◆◇

**竹原市立賀茂川中学校
の情報を集めています！**

令和9年2月27日（土）に賀茂川中学校の閉校式が行われます。現在、3年生が閉校式に向けて、賀茂川中学校の年表を作成しています。

卒業生・地域の方、当時の賀茂川中学校についての情報（学校行事、制服、給食、授業の様子等）を収集しています。また、当時のことがわかる資料や写真も探しています。ご協力いただける方は、下記の連絡先へご連絡ください。

〒725-0004

担当:3学年

広島県竹原市東野町914番地

TEL(0846)-29-0200 FAX(0846)-29-0216

メールアドレス

takehara-kamogawa-j@takehara.hiroshima-c.ed.jp



❖一人暮らし等夏期訪問のお知らせ❖

東野町社会福祉協議会では理事と福祉部員が、80歳以上の一人暮らしの方等を対象にお中元と、東野小学校児童のお手紙をそえて、7月10日（金）15時にセンターを出発して、それぞれのご家庭を訪問させていただきます。対象の皆さんは、楽しみにお待ちください。



★6月の活動報告は裏面に掲載しています。どうぞご覧下さい。★

◎盆踊り等練習のご案内◎

8月13日に東野盆踊り大会が開催されます。それに先立ち、太鼓、踊り等の練習を行います。地域の皆さん、どうぞ練習にご参加いただき、当日踊りの輪を大きく広げましょう。

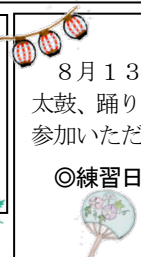
◎練習日時：7月23日（木）18:30 地域交流センター

7月30日（木）

※今年度の練習は（木）で

8月6日（木）

全て会場はセンターです。



2026. 7月～8月2週目行事等カレンダー

※予定は変更になる場合があります。

7月	火	水	木	金	土	日
		1 有善ごみ ラインダンス 9:30 サロン城山 13:30	2 料理教室 9:00 健康体操 9:30	3 もやせる物 コーラス 9:30 書道 13:00 煎茶 13:30 卓球 19:30	4 グラウンドゴルフ 16:00	5 東寿クラブ GG 8:00
6 センターだより配布日 卓球 13:30	7 もやせる物 太極拳 9:30 3B体操 13:30	8 花づくり 8:30 大正琴 13:00 サロン城山 13:30 バズの会 15:00 バズの会研修 17:00	9 健康体操 9:30 パソコン 13:30	10 もやせる物 北部民児協 9:30 伝統芸能継承講座 13:30 町社協夏期訪問 15:00 東野小出発 卓球 19:30	11 グラウンドゴルフ 16:00	12 東寿クラブ GG 8:00
1 卓球 13:30	14 もやせる物 太極拳 9:30 AED研修会 13:30	15 資源物・灰 ラインダンス 9:30 東寿C物故者法要 10:00 東寿C役員会 11:00	16 健康体操 9:30	17 もやせる物 コーラス 9:30 書道 13:00 煎茶 13:30 わかたけ号 卓球 19:30	18 グラウンドゴルフ 16:00 自治会役員会 19:00	19 東寿クラブ GG 8:00
20 リサイクル物 海の日	21 もやせる物 太極拳 9:30 3B体操 13:30	22 クラフトデー 9:30 大正琴 13:00 サロン城山 13:30	23 健康体操 9:30 パソコン 13:30 盆踊り練習 18:30	24 もやせる物 脳トレ童謡唱歌 13:30 卓球 19:30	25 ピンポン教室 9:30 グラウンドゴルフ 16:00	26 東寿クラブ GG 8:00
27 寿和会 10:00 JAひろしま 10:00 卓球/伝筆 13:30	28 もやせる物 太極拳 9:30	29 サロン城山 13:30	30 健康体操 9:30 盆踊り練習 18:30	31 もやせる物 女性会理事会 10:00 卓球 19:30	8 1 	2
3 卓球 13:30	4 もやせる物 太極拳 9:30 3B体操 13:30	5 センターだより配布日 ラインダンス 9:30 サロン城山/大正琴 13:30	6 健康体操 9:30 盆踊り練習 18:30	7 もやせる物 北部民児協 9:30 コーラス 9:30 書道 13:00 煎茶 13:30 卓球 19:30	8 	9

*リサイクル：ペットボトル・ビン・カン・金属・陶磁器類・小型家電・ガラス等

*資源物：新聞・チラシ・雑誌・ダンボール・紙パック・焼却灰等

*有害ごみ（水銀などを含む乾電池・蛍光灯・体温計等）4・7・10・1月の第1水曜

*粗大ごみは6・9・12・3月の第4月曜日。祭日の場合は変更あり。申込制 22-2279



◆防災施設研修:6月6日(土) 「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」視察

主催：東野町協働の町づくりネットワーク 共催：東野町自治会・東野町社会福祉協議会・東野女性会・東野地域交流センター

6月6日(土)、地域の皆さん28名とともに、神戸市の「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」へ視察研修に行ってきました。1995年の震災から31年が経ちますが、展示や映像を通して、当時の揺れの激しさ、街の変わり果てた姿、そして多くの命が失われた現実を改めて胸に刻む時間となりました。

特に心に残ったのは、近隣住民が力を合わせ、崩れた家屋の中から必死に救出活動を行う映像でした。「地域のつながりが命を守った」そんな言葉の重みを、深く感じました。

今回の研修を通して、「いざという時に頼れるのは、地域のつながり」日頃の声かけや顔の見える関係づくりが、災害時の大きな力になることを強く学びました。そして、防災、減災は日頃の備えから始まること、いざという時はまよわず避難すること、家の中の危ない物を減らし、家具などの固定や、非常持ち出し袋や備蓄の見直しの大切さなど、多くを学びました。東野町の上記の団体では2年に1度、この様な防災施設研修を実施していますので地域の皆さんには是非御参加いただき、防災について一緒に



令和8年度 防災施設研修アンケート

【1】本日の「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」の視察は、ご自信の地震対策に

1. とても役に立った。26人 2. 少し役に立った。2人 3. あまり役に立たなかった。0人

【2】本日の研修の感想をお聞かせください。

- ・地震の瞬間があれほどひどいと想像もしていませんでした。一個人として自然災害は、防ぎようがありませんが、せめて減災に努めたいと思いました。神戸の人たちが力を合わせて「がれき」の中から人を助け出す姿に感動しました。私たちの町でもあのように力を合わせるため、普段からのコミュニティが大切だと感じました。
- ・地震被害は自分で思っていたよりすごいものだと思います。年齢を重ね体に自信がなくなっている分どうなるか不安です。
- ・震災の怖さを知った。 ・とても怖い思いをしましたが、いい経験になりました。
- ・とても恐ろしかったです。地震災害はいつやってくるかは、わかりません。備えは大事だと、改めて考えさせられました。
- ・ためらわずに、逃げるのが大事であることを学びました。
- ・実際の映像を見て、現実の出来事とは思えませんでした。小さな地震でも体が動かないのに、あっという間に生死が決まってしまう。今は、寝室には何も置いていません。
- ・逃げることは生きること。災害はなくなれないと思うので、減災することは大切だと思う。
- ・3度目の見学でしたが何回見ても地震の怖さ、すごさは体験に勝るものはないでしょう。自然災害とは、背中合わせではありますが、減災につながるように日頃から準備していきたいと思います。
- ・逃げる準備、どこで逃げるか常に考えていなければいけないと思った。東野は川と山があるので警報やニュース等にも気をつけなければと思う。 ・現実に避難するというむづかしさも知り水害の時は早めに、避難する様心掛けておく。
- ・実際に現地で体験してみて、災害の恐ろしさが身に染みました。
- ・いつ起きるかかわからない水害・地震・生命まで持って行かれる。身に染みて逃げることを考える。
- ・恐ろしいことが起こったんだと思った。(初めての体験だったので)マグニチュードの大きさの話を聞いて、高知の津波の高さもお話ししてもらった。 ・防災について自分でできることや、準備等の参考になりました。
- ・すごい災害だったのだと改めて思いました。「減災グッズを備えるように」の中あるように、日頃より揃えておく必要があると思いますので、今後気をつけて準備していきます。
- ・いつ何時にどこで起きるか分からない災害、自然の恐ろしさと人間の無力さを改めて感じられた。
- ・震災当初のことを思い出し災害への心構えが強くなった。ボランティアの人、皆が助け合う事の大切さ、今後起きるであろう津波の高さに驚いた。 ・神戸まで来て大変な体験談をシアターで見ることができて、30年前に起きた災害を心深く思った。
- ・震災の津波や火事が多くの人々の記憶に深く刻まれている事を、教訓として、これからは防災グッズを減災となるようチェックリストを作成して、用意する。参加して良かったです。 ・神戸は少し遠すぎると思いましたが、地震となると仕方ないです。
- ・災害は発生してほしくない。だが、発生するもの。考えるべき事は、まず、自分が助かる手段を各自で事前に時々準備とか考えること。
- ・普段余り災害について考えないが、雨が降ると9年前の災害のことが思い出されて、怖い。今日見学して改めて怖いなと思いましたので、いつ起きるか分からない災害にできるだけ備えようと思いました。
- ・時間が足りない(スケジュール都合上)なので帰宅後再度ネットで学びを深めたいと思います。
- ・災害にあった時の心構えがわかった。これからの生活について自分がいかに生きて行けばいいかわかった。
- ・もっと時間があれば良いと思った。災害の恐ろしさを痛感した。防災の事をもう少し身近に考えたい。
- ・あれだけの被害があったとは、思っていなかった。あの状況でとても生きるとは出来ないと思う。
- ・大画面での映像で実体験とまではいえませんが、身近に感じとても怖さを感じました。それからのスタートだったので自分のこととして考えることが出来ました。「対応策を」についてもっと知りたかったのですが、展示を詳しく見たかったです。もう少し時間が欲しかったです。人のつながりの力はすごいです。でもそれだけでなく行政の大きな力が必要だと思います。